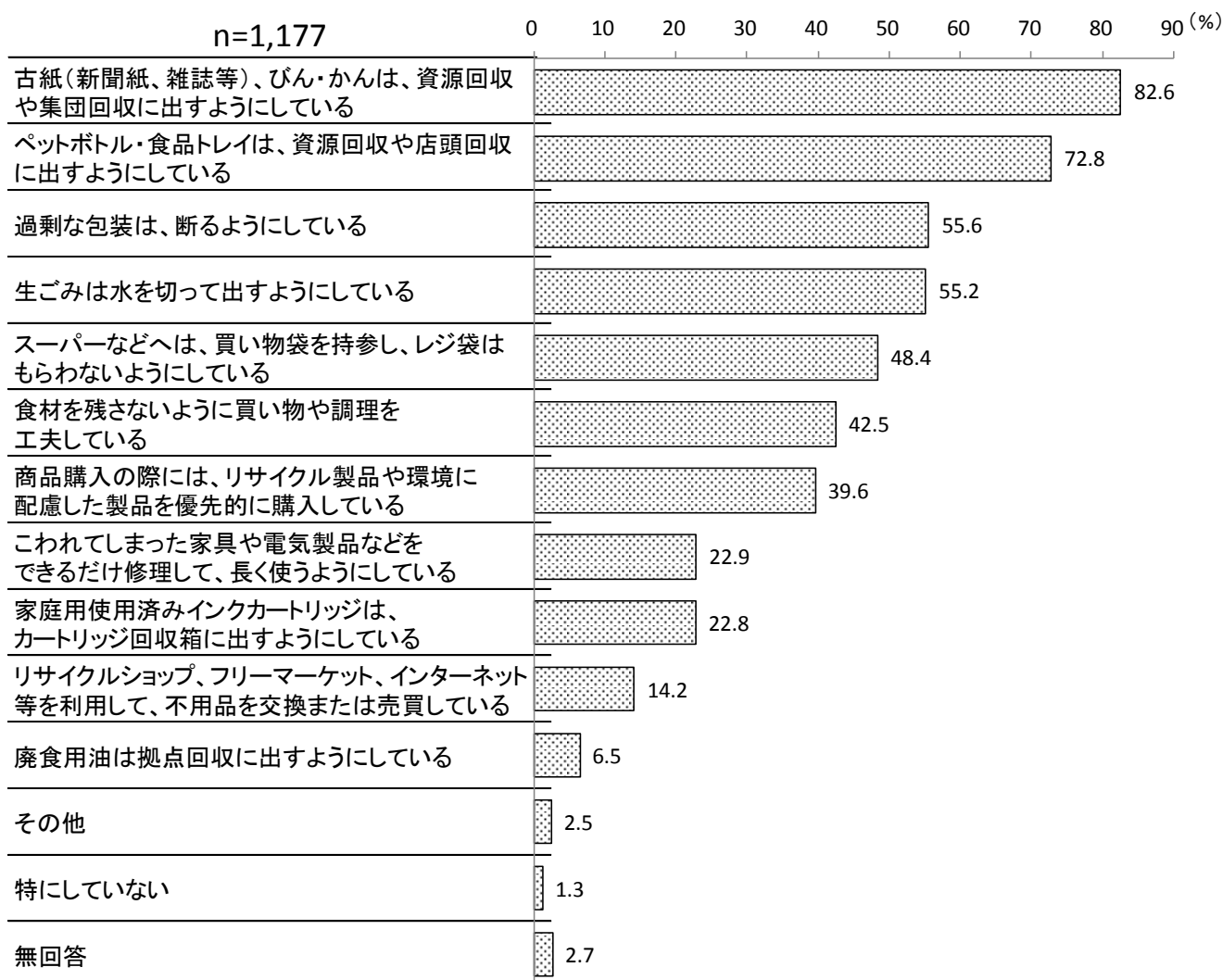


1 6 清掃・リサイクルの推進

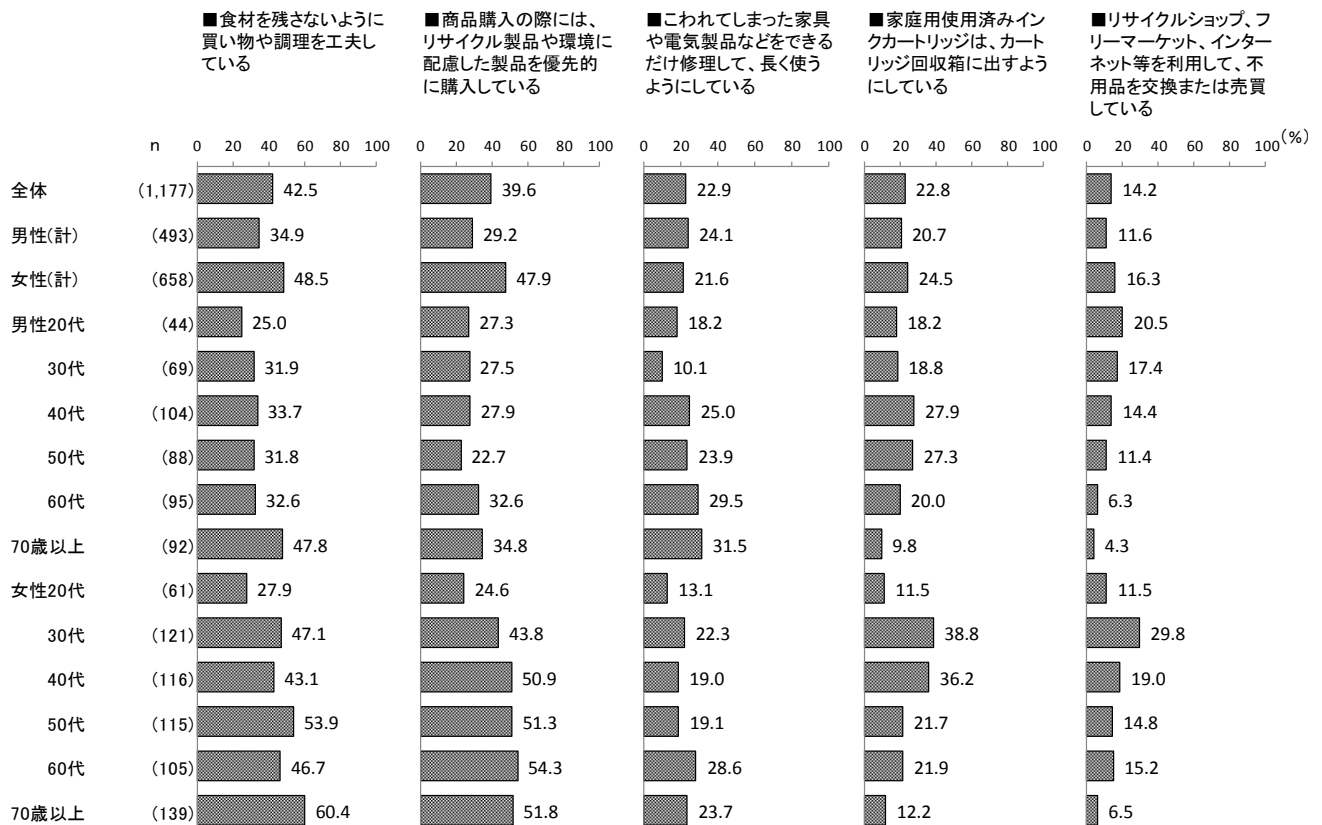
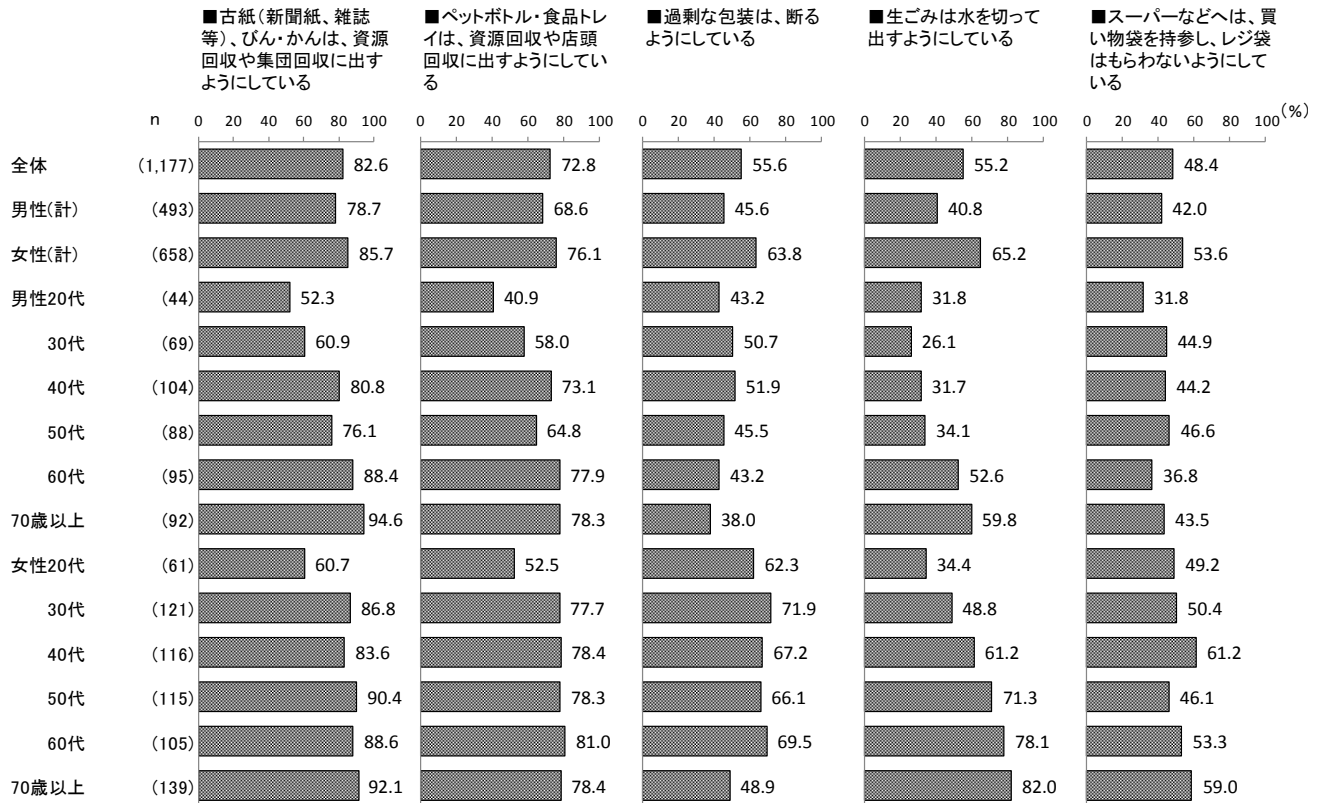
問 28 あなたは、ごみの減量のために普段の生活の中でどのような工夫をしていますか。

(○はいくつでも)



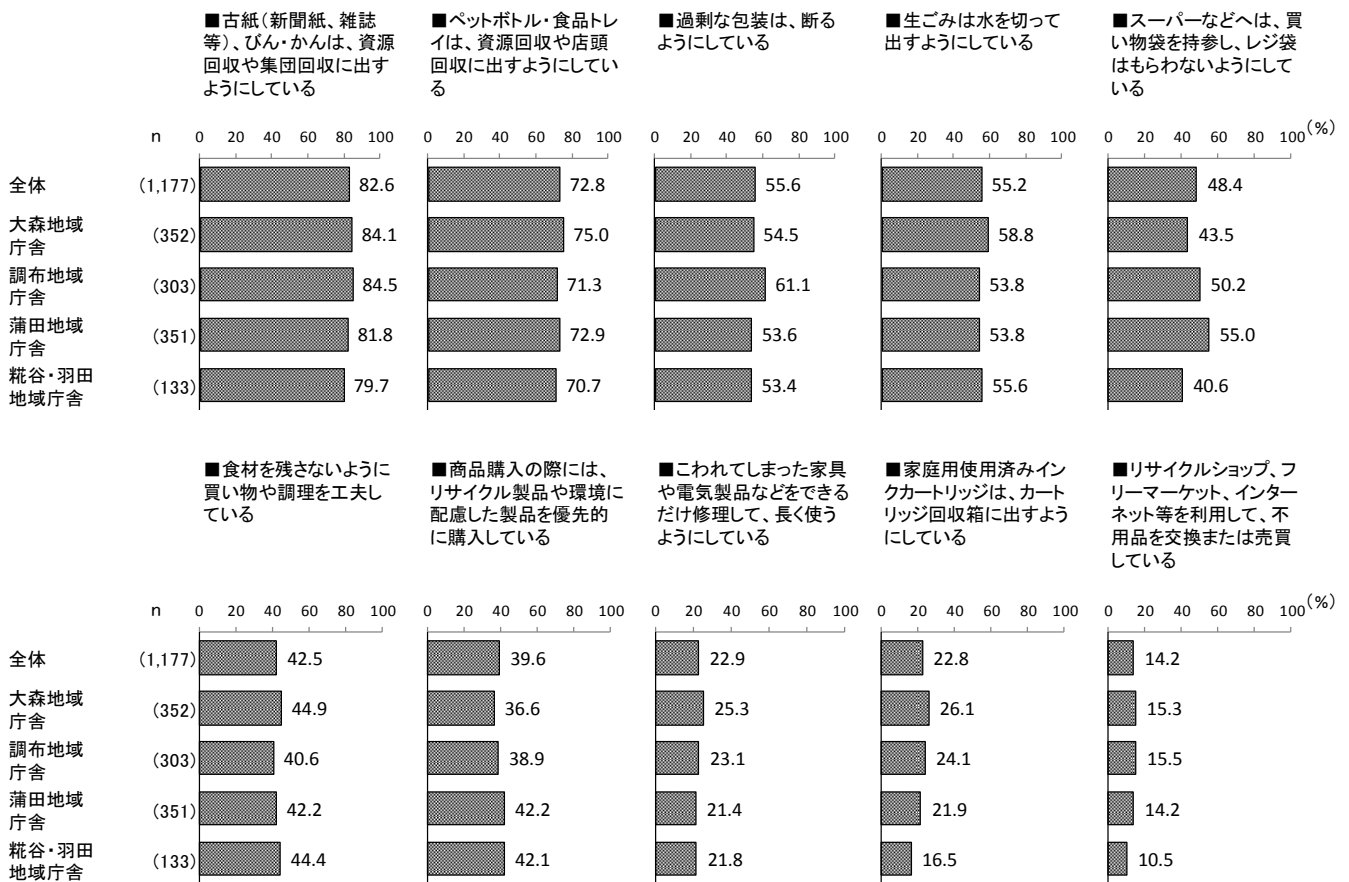
- ・全体では、「古紙(新聞紙、雑誌等)、びん・かんは、資源回収や集団回収に出すようにしている」が82.6%と最も高い割合となっている。次いで、「ペットボトル・食品トレイは、資源回収や店頭回収に出すようにしている」(72.8%)、「過剰な包装は、断るようになっている」(55.6%)、「生ごみは水を切って出すようにしている」(55.2%)の順となっている。
- ・前回調査と選択肢がやや異なるが、順位は変わらず同様の結果となっている。前回調査では「古紙(新聞紙、雑誌等)、びん・かんは、資源回収や集団回収に出すようにしている」は古紙とびん・かんで2つの選択肢であったが、「びん・かん」が1位で前回89.3%、「古紙」が2位で83.2%、今回82.6%と最も割合が高くなっている。次いで「ペットボトル・食品トレイは、資源回収や店頭回収に出すようにしている」が前回75.4%、今回72.8%、「過剰な包装は、断るようになっている」が前回54.0%、今回55.6%となっている。

【ごみ減量のため工夫していること×性／年代別（上位10項目）】



- ・上位 10 項目を性別にみると、「生ごみは水を切って出すようにしている」では女性（計）が 65.2%と男性（計）40.8%に比べ 24.4 ポイント、「食材を残さないように買い物や調理を工夫している」では女性（計）が 48.5%と男性（計）34.9%に比べ 13.6 ポイント、「商品購入の際にはリサイクル製品や環境に配慮した製品を優先的に購入している」では女性（計）が 47.9%と男性（計）29.2%に比べ 18.7 ポイント高くなっている。
- ・「こわれてしまった家具や電気製品などをできるだけ修理して、長く使うようにしている」では男性（計）が 24.1%と女性（計）21.6%に比べ 2.5 ポイント高くなっている。
- ・全体的に女性のほうが工夫している項目が男性を上回る結果となっている。
- ・年代別にみると、男性 70 歳以上では「古紙（新聞紙、雑誌等）、びん・かんは、資源回収や集団回収に出すようにしている」が 94.6%、「こわれてしまった家具や電気製品などをできるだけ修理して、長く使うようにしている」が 31.5%と他の年代に比べ高い割合となっている。
- ・また女性 60 代では「ペットボトル・食品トレイは、資源回収や集団回収に出すようにしている」が 81.0%、70 歳以上では「生ごみは水を切って出すようにしている」が 82.0%、同じく 70 歳以上で「食材を残さないように買い物や調理を工夫している」が 60.4%と他の年代に比べ高い割合となっている。

【ごみ減量のため工夫していること×地域庁舎管内別（上位10項目）】



- ・ 上位10項目を地域庁舎管内別にみると、「スーパーなどへは、買い物袋を持参し、レジ袋はもらわないようにしている」では蒲田地域庁舎管内が55.0%、「過剰な包装は、断るようになっている」では調布地域庁舎管内が61.1%、「生ごみは水を切って出すようにしている」では大森地域庁舎管内が58.8%と他の地域庁舎管内に比べ高い割合となっている。